

第二次佐久市総合計画前期基本計画進行管理について

1 第二次佐久市総合計画の構成

(1) 基本構想（平成29年度～令和8年度）

時代の潮流や本市の特徴を踏まえ、10年先の将来に向けてのまちづくりの基本理念と目指すべき将来都市像を明らかにし、それを実現するための施策の大綱を定めた長期的なまちづくりの指針となるもの。

佐久市の将来都市像

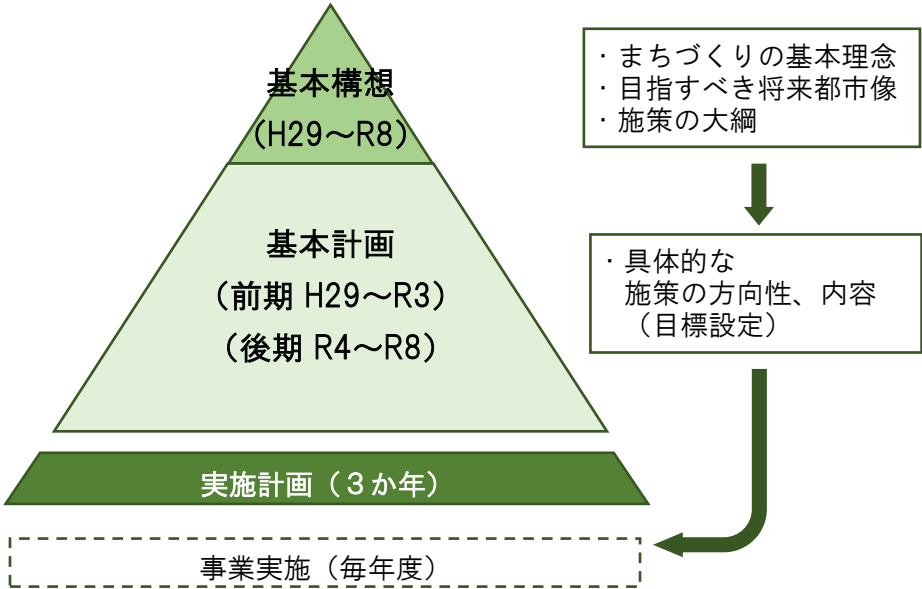
「快適健康都市 佐久」
～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

(2) 基本計画（10年間、5年間経過後に見直し）

基本構想の施策の大綱に基づき、その基本理念と将来都市像を実現するために、実施すべき具体的な施策の方向性と内容を示した中期的な計画。

社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応するため、5年経過後に後期の基本計画を策定。

○前期基本計画(平成29年度～令和3年度)



2 前期基本計画の進行管理

前期基本計画は、5つの重点プロジェクトにおけるプロジェクト目標と、施策毎の施策目標を設定しており、これら施策等の進捗状況に対して進捗状況評価を実施し、その結果を来年度以降の施策へ反映する。

3 進行管理方法

(1) プロジェクト目標（総合計画50、51、52ページ）

ア プロジェクト目標の設定

前期基本計画では将来都市像の実現を目指し、施策横断的に取り組む5つの重点プロジェクトを掲げ、各重点プロジェクトに成果指標としてプロジェクト目標を設定している。

1 重点プロジェクト「安定して働き続けることができるまち」	
プロジェクト目標：市内事業所の従業者数【経済センサス】	
現状値（H26）	目標値（R2）
40,203人	41,500人
2 重点プロジェクト「多くの人に選ばれることができるまち」	
プロジェクト目標：人口の社会動態（計画期間の累計）【長野県毎月人口異動調査】	
現状値	目標値（H29～R3累計）
—	1,000人
3 重点プロジェクト「安心して結婚し、子どもを生き育てることができるまち」	
プロジェクト目標：合計特殊出生率【佐久市調】	
現状値（H27）	目標値（R3）
1.52	1.74
4 重点プロジェクト「安心して暮らし続けることができるまち」	
プロジェクト目標：「佐久市は住みやすいと」回答する人の割合【市民アンケート】	
現状値（H28）	目標値（R3）
78.7%	80%
5 重点プロジェクト「健やかに暮らし続けることができるまち」	
プロジェクト目標：健康寿命【佐久市調】	
現状値（H26）	目標値（R2）
男性79.89歳 女性84.32歳	男性 延伸 女性 延伸

※重点プロジェクト目標は「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期）」の基本目標とリンクしています。

ただし、5の「健やかに暮らし続けるまち」は、総合計画の策定時に第1期総合戦略の基本目標になかった“健康長寿”の視点を追加しています。

イ プロジェクト目標の進捗状況評価

プロジェクトの進捗状況について、各所管課が総合分析を実施の上、今後の方針を示す。

例【1 重点プロジェクト：安心して働き続けることができるまち】

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

基本目標の考え方	市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、まず、仕事の創出・雇用の創出に取り組みます。
-----------------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
市内事業所の従業者数 【経済センサス】	目安値	—	—	40,560	—	—	41,100	人	
	実績値	40,203	—	40,327	—	—	—		
	進捗区分	—	実績値なし	概ね順調	実績値なし	実績値なし	未公表		
総合分析 (※ 第2期総合戦略においても、同様の指標により進捗状況を管理していくため、今後も継続して分析を実施)	<p>基本目標①の数値目標は、国の基幹統計調査に基づき設定しています。R1は、2019年度経済センサス基礎調査が令和2年6月1日～3月31日までの期間で実施されていますが、令和2年6月現在、調査結果が公表されていないため、「未公表」となります。</p> <p>「市内事業所の従業者数」は、H28において目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から124人増加しています。企業誘致や企業の経営基盤強化、新たな働き方の創設などによる雇用の確保など、安心して暮らすを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進する必要があります。</p> <p>一方、事業所数は基準値(H26)において4,848事業所だったものが、H28では4,730事業所と、減少傾向にあることから、対策の着眼点を広めることも必要です。新たな働き先として企業の新規立地を進めることは継続して注力しながら、これに加えて、働き方や働く職場の多様化を図ることで、地域外からの新たな働き手の流入や、地域内で未就労である女性、高齢者などの層の就労を促すことも重要と考えます。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、R1(最終年度)では、「達成」及び「概ね達成」が11項目、「未達成」が1項目、「未公表」が3項目となりました。</p>								
第2期総合戦略期間 に向けた取組方針	<p>住民が安心して暮らしていくためには、「しごと」があり、経済的に安定していることが重要であることから、第1期総合戦略から進める地域に「しごと」をつくる施策に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>さらに、本市への移住の傾向や移住者の意向からは、「しごと」は、移住の直接の目的としての位置付けより、他の要因による移住に際して暮らしの安定を担保するための位置付けが強い側面もあることから、それを踏まえた対応が重要です。</p> <p>第2期総合戦略では、その仕事があることで人を引き付けるような企業や職種の誘致・創出はもとより、第1期総合戦略で明らかとなった、減少傾向が見られる分野の現状の打開や本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援を図り、多様な職場や働き方を設けることにも特に注力して、暮らし続けるための安心の提供を推進します。</p>								

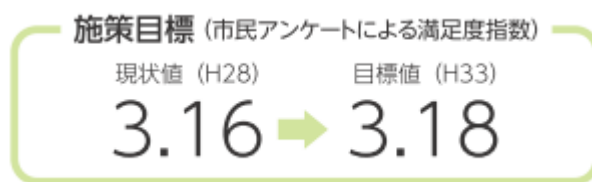
※総合戦略の基本目標の進捗状況評価として実施

(2) 施策目標（総合計画 58 ページ～169 ページ）

ア 施策目標の設定

基本計画における全 49 施策毎に市民アンケートによる市民満足度指数を目標値として設定している。第二次佐久市総合計画の基本理念である「市民の実感から始まり、実感に結びつくまちづくり」に基づき市民の満足度を目標とした。

例：施策名「学校教育」



※市民アンケートによる満足度指数

市内に在住する 16 歳以上の男女 1,000 人を対象に調査したもの。「満足」を 5 点、「やや満足」を 4 点、「どちらでもない」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点として平均点を集計。

イ 施策目標の進捗状況評価

総合計画の基本計画に示された 49 の施策への取組による実績・成果の達成状況と、施策目標を達成するための今後の取組について検討する。

市の行政評価システムの一部（施策評価）として実施し、各所管課がそれぞれの施策について、施策の進捗状況、今後の方針等を示す。

4 総合計画審議会での審議について

「前期基本計画における施策の進捗状況や取組に関する事項」について意見を求める旨の本審議会への諮問に基づき、同計画が定めるプロジェクト目標と 49 の施策目標の進捗状況評価についてご意見をいただく。

プロジェクト目標の進捗状況評価については、目標が「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標、KPI と同じであるため、先行して行う総合戦略の進行管理にて審議を行う。

施策目標については、施策の進捗状況、今後の方針について各課が分析したものについて、今後、市民の満足度を上げるためにはどのような取組を行ったら良いのか意見し、前期基本計画の進行管理のまとめを行う。

5 部会設置

審議の円滑化のため、進行管理の詳細は、3部会にて審議する。

	部会名	第二次佐久市総合計画前期基本計画担当箇所 (主な分野)
ア	第1部会	第1章(教育、文化、生涯学習)
		第6章(防災、交通安全、防犯)
		第7章(協働、行財政、交流分野)
イ	第2部会	第2章(交通、都市基盤整備)
		第3章(農業、商工業、観光、雇用)
ウ	第3部会	第4章(保健、福祉、子育て支援)
		第5章(自然環境、生活環境、上下水道)

6 審議スケジュール

概ね下図のスケジュールにて実施

